

7つのまちづくりの方針 ～第7次総合計画から～

① 健やかな生活を守るまちづくり

- **介護予防・日常生活支援事業・認知症施策の充実**…ニーズと地域資源の状況を把握し、生活支援コーディネーターを中心に高齢者を支えるネットワークの構築を推進します。介護予防・認知症施策の推進施設「町えんじょいセンター」を拠点に、おれんじボランティアや介護福祉事業者と連携した施策を展開します。
- **子育て支援**…不妊治療費助成、健康診査、予防接種費助成および医療費助成を継続実施します。妊産婦健診などへの移動支援を実施するとともに、町内宿泊施設を活用した産後ケアを実施します。
- **健康づくり**…メディカルフィットネス施設と連携し、運動習慣の定着、運動するきっかけづくりとして「健康チャレンジ事業」を進めます。国保特定健診の受診率を向上させ、生活習慣病の発症、重症化の予防への取り組みなどを行い町民の健康づくりと健康寿命の延伸を目指します。
- **障がい福祉の充実**…緊急時の受け入れ対応や医療的ケア児へのサービス提供体制を強化します。障がいの有無に関わらず、地域社会で共に暮らし支え合う地域づくりを行います。
- **自殺対策**…「いのちを支えあう」総合的な各種取り組みをより一層強化します。

② 時代を拓き次代につながるひとづくり

- **青少年の健全育成や教育振興運動**…町内での家庭学習の充実や地域社会での体験学習を推進します。多世代交流により地域内のつながりを強めるため、「寺子屋」事業などを実施します。
- **生涯学習とスポーツ・レクリエーション環境の充実**…町公民館を拠点に自己を高め、意欲の向上につながる情報や研修会、講座などの情報発信を推進します。各種スポーツにさまざまな形で関わり合える環境を整備します。
- **芸術・文化活動の推進**…各種支援による芸術文化活動のさらなる振興を促進します。
- **文化財の保護と活用**…徳丹城跡など貴重な史跡を観光資源として活用し、交流・賑わいの場を創出します。

③ 利便性と発展性を高めるまちづくり

- **土地利用**…市街化区域の拡大は今春に都市計画決定となる見込みで、今後も関係機関と調整を実施します。
- **やはば一く・矢幅駅多目的ホールの利活用**…各種自主イベント開催による、中心市街地の活性化と賑わいを創出します。町の玄関口として駅利用者および町民の交流の場所として整備します。
- **道路ネットワークの整備**…児童生徒の安全確保に向けた歩道整備、利用台数が増加している矢巾スマートインターチェンジ周辺道路の利便性向上に向けた拡幅工事を引き続き推進します。

④ 快適性と安全性を高めるまちづくり

- **消防体制の充実強化**…消防団の新団員確保施策として処遇改善や積極的な募集活動を実施します。これまでに育成した防災士と自主防災組織との連携を図り、地区単位を主体とした講習会や訓練を実施します。
- **交通安全政策**…通学路の交通安全対策としてゾーン30 プラスなどの設置事業を推進します。
- **防犯政策**…若者から高齢者まで犯罪被害の防止に関係機関と連携し、犯罪に強いまちづくりを推進します。
- **上下水道事業**…将来にわたる安定的な事業運営のため経営戦略に基づき着実に実施し、併せて技術継承の体制を構築します。

⑤ 産業の活力を高めるまちづくり

- **農業基盤整備事業**…いきいき農村基盤整備事業や各種交付金を活用し、暗きょ排水設備の更新を進めます。各種交付金を活用し、耕作放棄地の発生防止に努めます。
- **農地を活用した治水**…流域全体で少なくする「流域治水」に基づき、煙山ダム2杯分の貯水効果のある田んぼダムの取り組みを推進します。
- **農地を活用した治水**…やはば農業担い手応援事業、町親元就農給付金など各種制度を活用し、農業従事者の確保・育成支援を実施します。福祉事業所による農業への参入や、農業者とのマッチング支援などによる農福連携を推進します。
- **商工業の振興**…中小企業振興基本条例を基に基本計画を策定して地域経済の好循環を図り、中小企業の基盤強化、健全な発展への具体的な施策を実施します。

⑥ 豊かな生活環境を守るまちづくり

- **脱炭素に向けた施策展開**…地域における再生可能エネルギー導入について、基礎的な情報の収集と分析により、将来の温室効果ガス削減と脱炭素化に向けたシナリオ作成を実施します。「資源分野」、「エネルギー分野」のそれぞれを起点とするハイブリッド方式の取り組みにより、それぞれの好循環を地域脱炭素ロードマップにつなげるよう強力で推進します。

⑦ 安心と信頼が寄せられる行政経営

- **行政サービスの利便性向上**…住民異動関連の手続きを署名のみで完結できるシステム、マイナンバーカードを利用した証明書発行が可能な端末を導入します。
- **効果的で効率的な町政運営**…町の戦略を確実に進めるため、施策や事務事業の推進状況などを評価します。EBPM(証拠に基づく政策立案)に取り組み、限られた予算と人員を最大限有効に活用し、未来に向けたより高い成果志向の行政経営を実現します。

令和4年町議会定例会3月会議が、2月17日から3月17日までの29日間にわたり開催され、初日に高橋町長が令和4年度の施政方針演述を行いました。施政方針の要旨と新年度の町政における重点、総合計画に基づくまちづくり方針をお知らせします。

令和4年度 町長施政方針

次世代へ続く 希望の橋を架ける

施政方針の要旨

新型コロナウイルス感染症の世界的流行の災禍にあり、その治療や感染拡大の防止に携わる皆さま、そして私たちの暮らしを支えられてきた全ての皆さまに改めて敬意と感謝の意を表します。現在、実施している3回目のワクチン接種については、希望する全ての町民の皆さまが安全かつ迅速に接種できるような強力で進めます。

これまでの感染症対策の一環として、本町の基幹産業である農業者、商工業者などへ支援を行ってきました。引き続き、令和4年度の施政方針を述べる高橋町長



令和4年度の施政方針を述べる高橋町長

関係者の皆さまの声に寄り添い、ウィズコロナ、ポストコロナ時代の経済活性化に向けたまちづくりを進めます。

第7次総合計画・後期基本計画(2020～2023)の3年目である令和4年度は、世界の共通目標であるSDGsの理念のもと、誰一人取り残すことなく、「希望と誇りと活力にあふれ躍動するまちやはば」の実現に向け、本町がこれまで培ってきたフューチャー・デザインのノウハウを生かしながら、未来への持続可能なまちづくりを進めます。

令和4年度、重点的に取り組む項目、そして、まちの将来像の実現に向けた施策の方針はいずれも7項目であります。それぞれの7項目が七色の虹のように次世代に続く希望の架け橋となるよう「令和4年度レインボー大作戦」と名付け、課題解決に向けた挑戦を進めます。

新年度 町政の重点

- ① **観光産業の活性化**
 - 西部地域における観光拠点の一体的プロモーション
 - 徳丹城跡の整備を通じた魅力向上
- ② **子育てに優しいまちづくり**
 - 町立保育園における医療的ケア児の受け入れ体制整備
 - 赤ちゃん子育て応援給付金の創設
- ③ **ゼロゴミ6Rの推進**
 - ゼロウェイストを意識した6Rの推進
 - 地域のリサイクル拠点回収事業を環福連携により展開
 - 使用済みプラスチックなどのアップサイクルの推進
- ④ **DX※の推進**
 - 町民の利便性向上のためマイナンバーカードの普及促進
 - 関係機関と連携した「人に優しいデジタル化」の支援
 - 産学官連携によるスマートタウン構想の具現化
 - デジタルトランスフォーメーションの略で、デジタル技術を活用して生活や働き方などを変革すること。
- ⑤ **新たな地域コミュニティの構築**
 - 地域住民の思いを大切にし、行政と自治会が補完し合いながら地域課題の解決に取り組めるような構築の推進
- ⑥ **町民との対話を通じたまちづくり**
 - 各地域を訪問してのコミュニティ懇談会を開催
 - ICTを活用した新しい形のコミュニケーションを検討
- ⑦ **財政の健全化**
 - 徹底的な事務事業の見直しを実施